

## はじめに

八戸市は、恵まれた自然環境と古から続く歴史・伝統・文化を背景に育んできた地域資源を生かしながら、農業、水産業、商業、工業等の多様な産業が集積した北東北の中核都市として発展してまいりました。

当市の農業では、水稻、野菜、果物、花き、畑作物、畜産物等の多彩な生産が行われ、市域の食料供給を担いながら、高速交通網の整備による広域流通の充実のもと、地域経済の一翼を担っております。

また、農業生産という本来の役割の他に、都市防災や自然環境保全、市民に潤いと安らぎをもたらす緑と良好な景観の形成等の役割も担うことから、より重要な産業のひとつであると認識しております。

しかしながら、我が国の農業を取り巻く情勢は、農業者の高齢化や担い手不足、農地面積の減少等の構造的な脆弱化に加え、食のニーズの多様化、グローバル化の進展、デジタル化の進展、環境保全型農業への取組の加速化など、大きな転換期を迎えております。

加えて、近年では、ウクライナ情勢に端を発した円安や農業資材の高騰、自然災害・鳥獣被害の増加等により、農業者の経営環境はより厳しいものとなっております。

このような大きな転換期にあたり、本市といたしましては、「第11次八戸市農業計画」の実践経過を踏まえるとともに、国、県等の施策との整合性を取りながら、自らの発想と戦略による特色ある農業施策を推進し、活力に満ちたたくましい産業としての農業の振興と持続的発展を図るため、「魅力ある多様な農業経営体の育成」、「地域特性を生かした八戸農業の推進」、「発信型農業の促進」、「持続的な農業生産環境の整備」、「地域特性を生かした畜産業の振興」、「森林環境の整備」、「地域資源の活用による可能性の追求」、「グローバル化への対応」の8つの施策を基本方向とする「第12次八戸市農業計画」を策定いたしました。

本計画の推進に際しましては、農業者、農業協同組合・農業共済組合・土地改良区・高等教育機関等の関係機関及び国・県・市の行政機関がそれぞれの役割のもとに一体となって取り組むことが重要であることから、皆様には、一層の御理解と御協力をお願い申し上げます。

結びに、本計画の策定にあたり、熱心な御審議を賜りました八戸市総合農政審議会委員の皆様、多大なる御支援・御協力をいただきました農業者並びに関係機関の皆様に対し、心からお礼を申し上げます。



令和5年4月

八戸市長 熊谷 雄一